

金融を介して大量にモノを扱つてきたリース会社は、リース満了物件の販売に始まり、セグメントごとにさまざまな発展を遂げ、今では中古マーケットでメンプレイヤーの顔をもつてきる。

リース業界最前線

20

向上し、ユーザーの要求レベルが高まる中、歴史的には大型の汎用コンピューターに始まり、航空機・船舶、半導体製造装置、医療機器などの分野では積極的な残価評価によりオペレーティングリースの組成を下支えしてきた。

また、工作機械や建機、輸送機などの分野では物件の見極めは、ものだつたが、現在は重要な収益源になつている物件も多い。さらに中古物件の売買事例を積み重ねることでリース会社の査定能力は

リースと中古設備売買



三井住友ファイナンス&
リース専務執行役員

西河 哲也

業と密接につながつた約が主流で、満了物件を第三者に販売して得られる収益は付加的なものだつたが、現在は重要な収益源になつている物件も多い。さらに中古物件の売買事例を積み重ねることでリース会社の査定能力は

業と密接につながつた約が主流で、満了物件を第三者に販売して得られる収益は付加的なものだつたが、現在は重要な収益源になつている物件も多い。さらに中古物件の売買事例を積み重ねることでリース会社の査定能力は

成して発展している。中古ビジネスは非金融収益を稼ぎ、新たな金融商品を生み出す手段としてリース会社の経営面でも重要視されて

成して発展している。資金力を背景に在庫力が最大の武器のリース会社は大型倉庫を構築も駆使して中古売買事業を展開している。またリース会社の機

能は、メーカーや商社にとって旧製品の流通ルート確保につながり、結果として新品の販売促進に貢献する側面もあり、タイアップした動きも多い。今後は、これまで培つてきた物件に関するノウハウを推進する役

3R推進でSDG S貢献

た、自動車産業を代表例に産業構造の大転換が進み、国内の設備投資環境に停滞感がある中、半導体製造装置や工作機械などの分野では、新品で先端設備を投資するユーザー層と、中古を活用しながら設備更新を進めるユ

ーザー層への二極化が進んでいる。先端分野が中古市場の発展のベクトルだが、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に対する意識の高まりで、3R（リデ

古設備で下支えするリース会社の役割は社会的意義も極めて大き

たが、自動車産業を代表例に産業構造の大転換が進み、国内の設備投